

◆ 4月号の予定 ◆

特集 「国際貿易(1) 貿易構造の変化と課題」

国際貿易は逆風続きだ。米中貿易戦争、コロナ禍、ウクライナ戦争、そして、トランプ関税。この間、スロー・トレードやディグローバリゼーションという陰気なカタカナ英語もよく耳にした。本誌では2回にわたって国際貿易を特集する。1回目となる4月号は、わが国貿易のこれまでの変貌と今後の発展のためになすべきことを多角的に考察する。

論考・論文

- ・貿易船「日本丸」：逆風強まれど目的地に変更なし
- ・わが国を巡るグローバル・バリュー・チェーンの変化
- ・グローバル・バリュー・チェーンと生産性
- ・米中貿易摩擦と世界経済 - トランプ1.0の教訓と今後の展望 -

統計ウォッチング

- ・2024年出生数70万人割れの見込み

統計寸評

- ・調査票情報の二次的利用について

連載

- ・滋賀大学におけるデータサイエンスの産官学連携(1) - 連載の開始に当たって -
- ・労働力調査の80年(1) - 労働力調査とは -

統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2024受賞論文 大学生・一般の部 優秀賞

英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Joseph Rollinson 他 著

“How we helped change the state lottery playslip” 抄訳と解説

書評

- ・滋賀大学データサイエンス学部 編著 『データサイエンスの基本』

◎ 「特集」のテーマ (2024年10月号～2025年9月号)

- 2024年10月号 — 賃金動向の行方
- 11月号 — 統計科学の発展を担う行動計量学・計量心理学
- 12月号 — 産業連関表の新たな意義
- 2025年1月号 — 令和7年国勢調査への期待-実施年の幕開け-
- 2月号 — 社会保障分野のEBPM
- 3月号 — これからの農林統計の展望
- 4月号 — 国際貿易(1)貿易構造の変化と課題
- 5月号 — 国際貿易(2)経済・食料安全保障の観点
- 6月号 — わが国のコーポレートガバナンス
- 7月号 — 令和7年国勢調査の意義と役割
- 8月号 — 行政情報のマイクロデータ研究
- 9月号 — 税務情報のマイクロデータ分析

(注)「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

◎ 連載

- ・国際統計制度とは何か
…2021年1月号から隔月
2025年3月号まで連載
- ・公的統計の利活用推進と21世紀の統計行政
…2022年2月号から隔月
2023年2月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線
…2021年7月号～毎月12月号まで
2023年1月号～毎月7月号まで
2024年3月号～
2025年2月号まで連載
- ・2025 SNAの最前線
…2023年4月号から隔月
2024年2月号まで連載